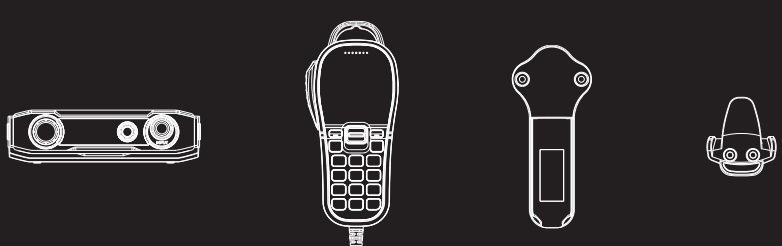
NEXNET II

IP-PTT
A901

取扱説明書 V2



j.mobile

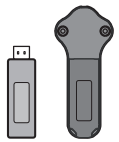
目次

目次 2
構成品 2
安全上のご注意 3
警告 3
注意 4
正しくご使用していただくために 4
設置の際にご注意ください。 6
各部のはたらき 7
ブラケットを利用した製品設置 10
配線方法 11
電源ON/OFF 12
電源ONにする 12
電源OFFにする 12
通話方法 13
発信方法 13
受信方法 14
音量変更方法 14
呼出機能 15
メッセージ確認 15
便利な機能 16
個別電話帳の登録 16
グループ設定 16
お気に入り 17
ワンタッチPTTの設定 18
番号検索 18
録音再生機能 19
短縮キー 19
詳細メニュー 20
よくある質問 22
主な使用 23

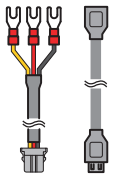
構成品

1 マイク、ブラケット

2 本機、ブラケット



3 USB 3Gドングル、ブラケット



4 電源ケーブル、USB延長ケーブル

5 ネジ、両面テープ、マジックテープ

6 取扱説明書

外部スピーカー、GPSアンテナ、シガー電源ケーブル

＋(オプション)

安全上のご注意

本機を安全に正しくご使用していただくために、次のことを十分に注意してください。

- 行ってはならない禁止事項です。
- 必ず守って頂きたい注意事項です。
- 参考にして頂きたい事項です。

警告

- 自動車を運転しながらマイクを操作しないでください。
  運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車してから使用してください。
- 航空機内や病院内での設置、運用はしないでください。
  電子機器や医療機器に影響を与える可能性があります。
- 引火性ガスの発生する場所では設置、運用はしないでください。
  発火事故の原因になる可能性があります。
- 心臓ペースメーカー装着者は使用しないでください。
  ペースメーカーに影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因となります。
- 自動制御機器の近くで使用しないでください。本機からの電波で機器に影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因となります。
- 電源コードを挟んだり、傷つけないよう設置してください。
  火災や発熱、発火などの原因となります。
- 前方視界を妨げる場所や運転操作の邪魔になる場所に設置、運用はしないでください。
  怪我や事故、故障の原因となります。
- 運転中は車外の音が聞こえるよう、スピーカーの音量に注意してください。
  怪我や事故の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。怪我や事故、故障の原因となります。
- 車両エンジン停止中に長時間使用しないでください。車両放電の危険があります。
- 製品に衝撃をかけたり鋭いものを使用しないでください。故障の原因になります。

注意

- 直射日光の当たる場所に設置、運用はしないでください。
  プラスチックケースの変形や変色、故障の原因となります。
- 雨や水がかかる場所では設置、運用はしないでください。製品の周りに飲み物等の液体を置かないでください。本機は防塵、防水構造を施しておりません。液体が製品に入ると発煙、発火や故障の原因となります。
- 強い衝撃を加えたり投げつけたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の装置以外と接続しないでください。故障の原因となります。
- マイクを磁気カード類に近づけないでください。
  カードのデータが消えるなど、不具合が起こる可能性があります。
- お手入れの際にはシンナーやアルコールなどを使用しないでください。乾いた柔らかい布を使用してください。プラスチックケースの変形や変色、故障の原因となります。

正しくご使用していただくために

- 本製品は携帯電話通信網を使って通信を行っております。本製品での通信は保証するものではありません。本製品の通信の仕組みを十分ご理解の上ご使用してください。
- 付属品は全てJ-mobileが販売しているものを使用してください。GPSアンテナやUSB延長ケーブルなど市販品や自作物をご利用にならないでください。製品保証の対象外となります。
- 筐体の材質はABS樹脂です。運搬時は投げたり落としたりしないでください。機器が壊れます。またネジを外したり、分解しないでください。性能劣化や故障の原因となり製品保証の対象外となります。
- 本体及び付属品は防滴や防水構造を施しておりません。水などの液体がかかった場合は製品保証の対象外となります。
- 車両内のエアコンによって製品表面に急激な温度差が発生すると結露が発生する可能性があります。結露は時間の経過とともになくなりますので不良ではありません。
- 市販のUSBメモリを本製品に挿した場合、認識しない場合があります。

- 本製品は一般通信機器として使用されることを意図して設計されております。特別な品質 / 信頼性が要求され、その故障や誤動作が生命維持や財産に著しく関わるような医療機器 / 防災 / 防犯セキュリティー機器等としては使用しないでください。
- マイクのコードを強く引き伸ばしたままにしないでください。コードの断線など故障の原因となります。
- 車両内で電子波が発生する機器を使用したり、曇天や悪天候、GPSアンテナが遮られる場所でもGPS受信障害が発生する可能性があります。
- 通話する際は、マイクから5cm 程離してご利用ください。距離が近いと相手に届く音声が割れたり歪んだりする場合があります。
- パケット通信サービスエリア内であっても、トンネル内や車庫内など電波の届きにくい場所や、3Gネットワークの状態の影響で、通話中に音声が途切れる場合があります。
- 本製品のファームウェアは、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルまたは逆コンパイルすることはできません。また改造は保障の対象外になりますので行わないでください。
- 本製品に関して記載される著作権、特許、実用新案、商標等の知的財産権の表示を削除または改変することはできません。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計されております。日本国外での使用は出来ません。
- 車両前面ガラスに金属成分が多く含まれているカーフィルムを貼るとGPS受信障害が発せする可能性があります。

- ご使用にあたって
  お客様の責任に於いてご使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわりなく、弊社は一切の責任を負いません。ご使用の際は、使用環境・条件等に十分配慮し誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

本書の一部または全部を無断で転載、複製、改変などを行うことを禁止します。
本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更されることがあります。

設置の際にご注意ください。

設置の際は、次のことを十分に注意してください。

直射日光の当たる場所には設置しないでください

ダッシュボード部分周辺は直射日光が当たり易いため、本体やマイク、通信モジュールは絶対に設置しないでください。フロントガラスなどガラス部への設置はしないでください。

USBケーブルは追加延長しないでください

付属のケーブル長の中で設置場所を検討し、設置してください。USBケーブルを延長した場合、システムすべての動作保証を致しかねますので絶対にしないでください。

アンテナケーブルは他の配線と一緒に束ねないでください

GPS アンテナのケーブルやUSBケーブルは、他の機器配線や車両の配線などと一緒に束ねないで下さい。また、できるだけ近づけないように配線してください。GPS衛星からの電波は非常に微弱であるため、他の配線が発するノイズの影響で測位不良になることがあります。

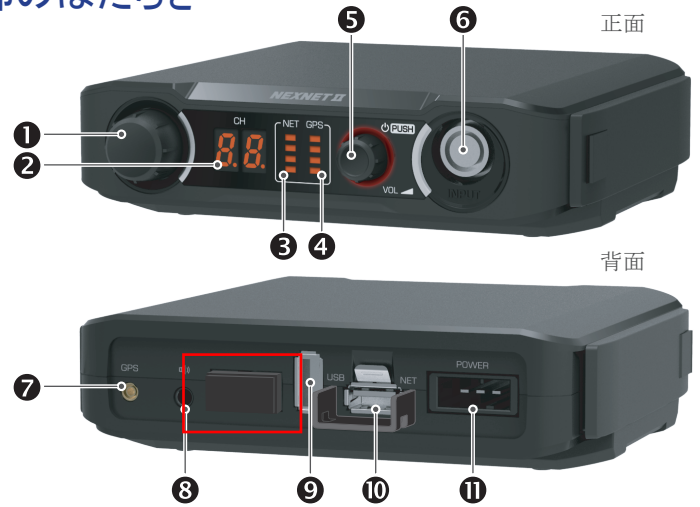
シガープラグ付き電源ケーブルの注意点

シガープラグは電源工事が容易な反面、非常に不具合が起こりやすい箇所です。取付時にご配慮いただき、接触不良の起こる要因を取り除いてください。車両側のシガーソケット内に汚れがある場合、電源の接触不良を引き起こし機器が誤動作します。タバコのヤニやホコリで接触不良を起こす場合もあります。接触不良の疑いのある場合はシガーソケットの清掃をおこなってください。

ケーブルに無理な力をかけないでください。

製品設置時に接続されたケーブルに無理な力をかけないでください。走行中に発生する振動などの物理的な現象により製品が損傷する可能性があります。特にケーブルと製品の接続部は微細な動きにも接続不良が発生する可能性がありますので、取付けの際は、しっかりと接続してください。

各部のはたらき



① グループチャンネルつまみ	グループチャンネルを選択します。
② チャンネル表示部	選択中のチャンネルを表示します。
③ 3G電波状態表示部	現在の3Gネットワーク電波状態を表示します。
④ GPS受信状態表示部	GPS信号の受信状態を表示します。
⑤ 電源／ボリュームつまみ	つまみを押して電源をON／OFFにします。 つまみを回して音量を設定します。
⑥ マイク用コネクタ	マイクを無線機本体に繋ぎます。
⑦ GPSアンテナ-コネクタ	GPSアンテナケーブルを無線機本体に繋ぎます。(注1)
⑧ 外付けスピーカコネクタ	外付けスピーカを無線機本体に繋ぎます。(注1, 注2)
⑨ USBコネクタ	弊社アクセサリーのUSB装置を無線機本体に繋ぎます。
⑩ 3G通信端末コネクタ	3G通信端末を無線機本体に繋ぎます。(注1)
⑪ 電源コネクタ	電源ケーブルを無線機本体に繋ぎます。(注1)

注1: 弊社が指定した付属品を使用してください。指定の以外装置と接続すると不具合や故障の原因になります。

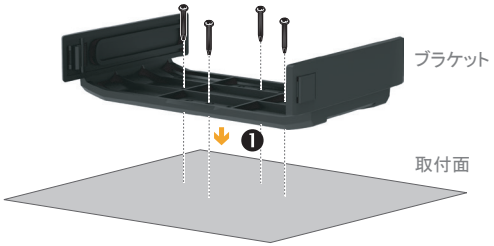
注2: イヤホンやヘッドホンは接続しないでください。

① PTTボタン	PTTボタンを押すと現在指定した個別連絡先やグループへ発信します。 発信した後PTTボタンを押しながら相手に音声を送信します。
② 左機能ボタン	表示画面の左下部に表示される機能を選択します。 ホーム画面上で短く押すと通話モードを変更します。 ホーム画面上で長押しするとお気に入りを設定します。
③ 戻すボタン	以前の画面に戻します。
④ 10キーボタン	数字・文字・記号の入力ができます。 (*) を長押しすると無音モードの設定／解除ができます。 (#) を長押しすると、録音リストを表示します。
⑤ 移動キー	キーを上下に操作して移動します。 ホーム画面ではお気に入りの検索ができます。
⑥ 右機能ボタン	表示画面の右下部に表示される機能を選択します。 ホーム画面で押すとメインMENUを選択します。
⑦ ホームボタン	ホーム画面に移動します。PTT受信中に押すと通話を終了します。
⑧ 全面マイク	PTTで使用者の音声を送信します。
⑨ スピーカ	PTTで受話時の音声を出力します。また、無線機本体の各種効果音を出力します。
⑩ 補助マイク	デュアルマイク機能のための補助マイクです。外部の雑音を集音し、ノイズキャンセリングを行います。

① 3G電波状態	現在の3Gネットワーク電波状態を表示します。 5レベルで表示します。 3G 3G 3G 3G 3G
② GPS受信状態	GPS信号の受信状態を表示します。 GPS：GPS信号受信不可 GPS：GPS信号正常受信
③ スピーカ	スピーカの出力状態を表示します。 ：スピーカ出力モード X：スピーカ出力なし（無音モード）
④ メッセージ	新しいメッセージがある場合に表示されます。
⑤ 時刻	現在の時刻を表示します。
⑥ ワンタッチPTTモード	現在設定されたワンタッチPTTモードを表示します。
⑦ 左下部MENU	マイクの (−)(左)ボタンを押して使用します。 ホーム画面で (−)(左)を短く押して発信モードを転換します。 発信モードはグループ、指令局発信モードがあって、機器が指令局で使用する指令局モードの場合には緊急グループ発信モードが追加で選択できます。 ホーム画面で (−)(左)を長押しするとお気に入りメニューへ移動します。
⑧ 右下部MENU	マイクの (−)(右)ボタンを押して使用します。 ホーム画面で (−)(右)を押すとメインメニューを表示します。

指令局モードで設定されている場合にはGPSアイコンの所に 指令 アイコンが表示されます。

ブラケットを利用した製品設置

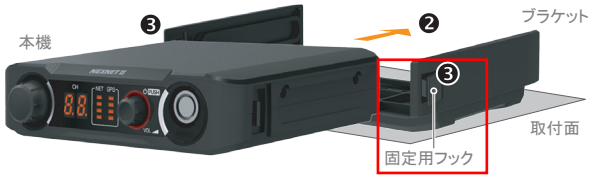


本体の設置

❶提供されたネジ、両面テープやマジックテープを使用して車両内部壁面などにブラケットを取り付けます。

❷固定用フックを開いたまま、本体をブラケットの中に押し込みます。

❸固定用フックを閉じて本体を固定します。



直射光線が当たるダッシュボードには設置しないでください。過熱による製品の故障や火災の原因になります。

マジックテープを使用する場合にはテープの背面に両面テープを付着してください。

マイク掛け用ブラケットの設置

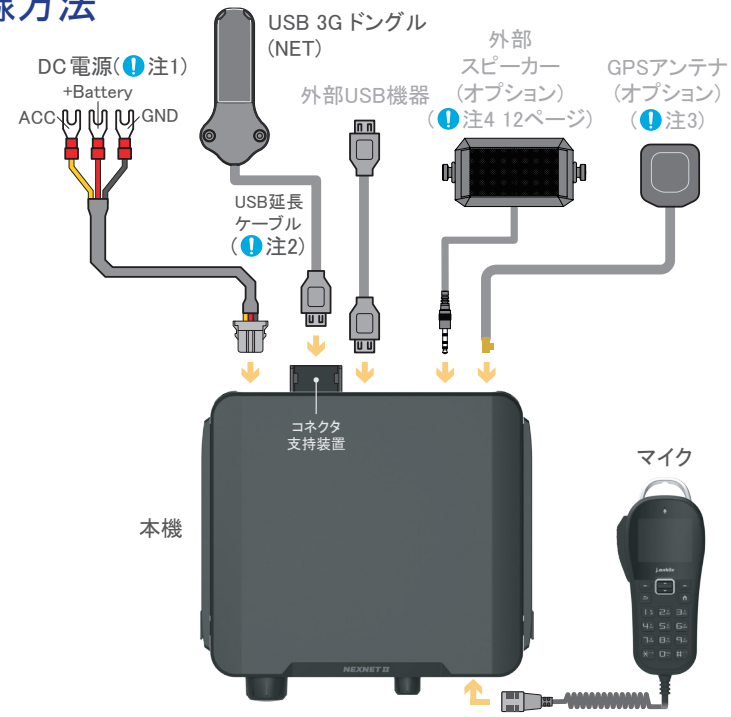
提供されるネジ、両面テープやマジックテープを使用して車両内部壁面などにブラケットを付着します。

直射光線が当たるダッシュボードには設置しないでください。過熱による製品の故障や火災の原因になります。

USB 3Gドングル用ブラケット設置

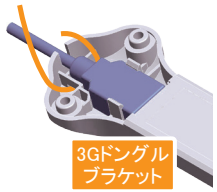
USB 3Gドングル用ブラケットも上記のようにネジ、両面テープやマジックテープを使用して車両内部壁面などに付着します。

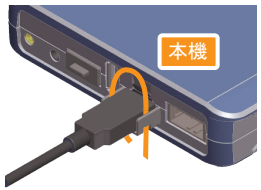
配線方法



注1: 電源は12V/24Vの共用です。必ず3線を全部接続してください。

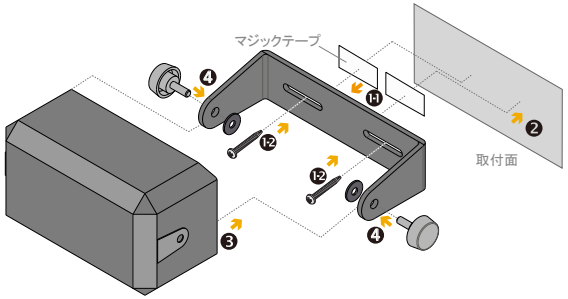
注2: 3Gドングルをブラケットに装着してドングルにUSB延長ケーブルを接続した後ケーブルタイでケーブルとブラケットを固定してください。同じのようにUSB延長ケーブルを本体NETポートに接続した後、ケーブルコネクタ部分とポート下のコネクタの支持装置をケーブルタイで結んで固定してください。





注3: 動態管理サービスに必要です。詳しい内容は販売店にご確認願います。

注4: 外部スピーカーを設置する場合には、スピーカーブラケットの背面に❶-1マジックテープ、または❶-2ネジを使用して❷取付面へ付着します。それから、❸スピーカーをブラケットに取り付け、❹ブラケットのネジで固定します。

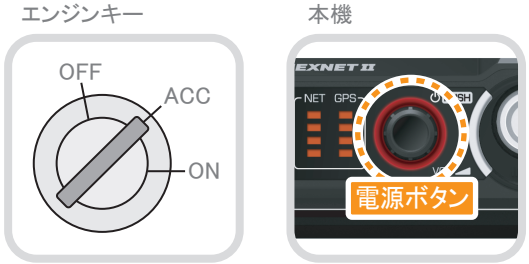


電源ON/OFF

電源ONにする

1 基本的にエンジンキーをACCやON（車のエンジンON）にすると製品の電源が入ります。

注 キーOFF（車のエンジンOFF）状態で長く放置するとACC状態やキーON状態でも製品の電源が自動的にONにならない場合があります。その場合にはエンジンキーをACCやONにし、本体の電源ボタンを押して機器を電源ON状態にします。



注 イグニッションをACCやONにしなくて本体の電源ボタンだけで電源をON／OFFする必要がある場合は、別途電源工事及び本機器の設定が必要です。詳しい内容は販売店にご確認願います。

2 電源をONにすると本体が動き始まりマイクの画面が表示されます。

電源OFFにする

1 基本的にエンジンキーをOFFにすると30分後に電源が消えます。電源をすぐOFFにしようとする場合には本体の電源ボタンを押してください。

2 画面が消えながら、終了します。

通話方法

発信方法

個別通話

➥ 指定の無線機と1:1の通信を行います。

1 相手無線機のPTT番号を入力して、PTTボタンを押したまま待機します。

注 −(右)(MENU)を押す ⇨ [連絡先] ⇨ [個別連絡先]で個別の相手を選択してPTTボタンを押して発信する方法もあります。

2 「ピピッ」と効果音が鳴ったらPTTボタンをしたままマイクに向けて話します。

3 話が終わったらPTTボタンを離します。

注 無線通話番号の形式は「OOO(3桁)、またはOOOO(4桁)」*「OOOO(4桁)」です。前の番号が同じの場合には後ろの4桁「OOOO」だけ入力して発信ができます。前の番号が違う場合、個別通話は可能ですが、グループ通話はできません。
例）「123＊4567」の発信者が「123＊7890」の受信者に発信するとき、「7890」を入力します。

グループ通話

➥ 選択したグループに接続しているすべての無線機と通話を行います。

1 無線機本体のグループチャンネルつまみを操作し、通信を行うグループを設定します。無線機本体のグループチャンネル表示部が点滅します。該当グループにつながると該当グループ番号を表示し点灯のままになります。

2 ホーム画面で −(左)(MODE)押し、通話モードをグループモードに設定します。(通信対象がグループで設定)

3 PTTボタンを押したまま待機します。

4 「ピピッ」と効果音が鳴ったらPTTボタンを押したままマイクに向けて話します。

5 話が終わったらPTTボタンを離します。

強制グループコール

➥ 強制グループ通話を行うとグループ内の他の使用者が通話中でも強制的に終了させ、強制グループ通話ができます。

- 強制グループコールを使用する場合は、別途指令局を設置する必要があります。(指令局の設置については販売代理店にお問い合わせください。)
- 強制グループコールを使用するためには無線端末器が指令局モードに設定されている必要があります。(指令局MODEの設定は販売代理店にお問い合わせください。)

受信方法

1 通知音が「ピピッ」と鳴って、画面に通話モードを表示します。

2 PTTボタンを押すと通話ができます。

- **画面に「発信」表示**:通話がつながった後PTTボタンを相手より先に押している状態です。相手に声をかける状態で、相手は「受信中」になります。指令局で伝送される強制グループ発信があると、「発信」が強制的に「受信中」へ切り替わります。
  画面に「待機中」表示:PTTボタンを離した状態です。相手も同じ「待機中」になり、「待機中」の状態が約3秒間続くと通信が切れます。
  画面に「受信中」表示:相手の声を聞いている状態です。相手が「発信」の状態ではPTTボタンを押しても「受信中」の状態が続きます。
- **通話品質確保**
  通話する時マイクから5cmぐらいの距離で使用してください。
  近すぎると音質が悪くなる可能性があります。

音量変更方法

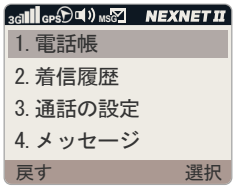
本体のボリュームつまみ(電源ボタン兼用)で音量を調節します。

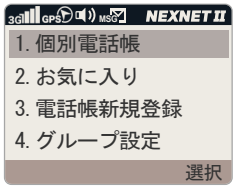
呼出機能

➥ 指定の相手に発信をしても応答がない場合に呼出することができます。

1 ホーム画面で (−)(右)を押してメニューを表示します。

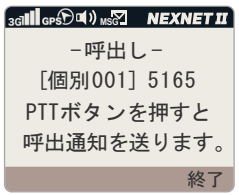
2 [**電話帳**] ⇨ [**個別電話帳**]を選択します。





3 表示される連絡先で (↕)を操作し、相手を選択、(−)(左)(**呼び出し**)を押します。

4 PTTボタンを押すと選択した相手に呼出を送信します。

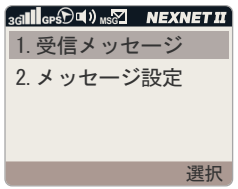


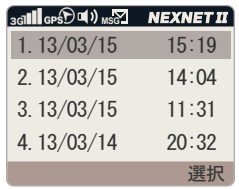
メッセージ確認

➥ 指令局からのメッセージを確認します。

1 ホーム画面で (−)(右)を押してメニューを表示します。

2 [**メッセージ**] ⇨ [**受信メッセージ**]を選択します。





3 受信メッセージリストで (↕)を操作してメッセージを選択、(−)(右)(**選択**)を押します。該当のメッセージを表示します。

便利な機能

個別電話帳の登録

➥ 最大999名の個別使用者の連絡先が登録できます。

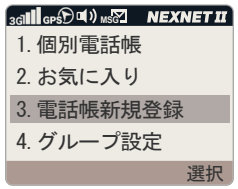
1 ホーム画面で −(右)を押してメニューを表示します。

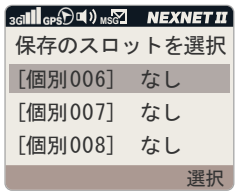
2 [電話帳] ⇨ [電話帳新規登録]を選択します。

3 [スロットを選択]の画面で ⇕ を操作して保存するグループスロットを選択し、−(右)(選択)を押します。

4 表示される画面で −(右)(選択)を押して必要な情報を入力します。

5 −(右)(確認)を押して入力を完了して −(左)(保存)を押します。





個別電話帳の編集

ホーム画面で −(右)(MENU) ⇨ [電話帳] ⇨ [個別電話帳] ⇨ 連絡先の選択及び −(右)(選択) ⇨ −(左)(編集)で進行して個別電話帳を編集することができます。

グループ設定

➥ グループを設定し、グループPTTを行うことができます。グループは最大99個まで登録ができます。

1 ホーム画面で −(右)を押してメニューを表示します。

2 [電話帳] ⇨ [グループ設定]を選択します。

3 グループリストが表示されると ⇕ を操作して保存するグループスロットを選択して −(右)(選択)を押します。

4 −(右)(新規登録)を押して登録するグループ番号を入力し、−(右)(登録)を押します。

5 確認メッセージが表示されたら −(左)(はい)を押して設定を終わります。

お気に入り

➥ 頻繁に使う個別通話およびグループ番号をお気に入りに登録して使用ができます。お気に入りは最大10個まで登録ができます。

1 ホーム画面で −(左)(MODE)を長押しします。

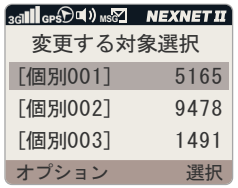
2 お気に入りリストが表示されると ⇕ を操作して保存するお気に入りスロットを選択して −(右)(選択)を押します。

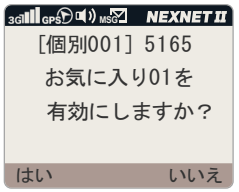
3 また −(右)(変更)を押して編集モードへ入ります。対象を選択する画面が表示されます。基本的に個別電話帳が表示され, −(左)(オプション)を押してグループリストを表示します。

4 ⇕ を操作して個別やグループ番号を選択し、−(右)(選択)を押します。

5 お気に入り設定確認メッセージが表示されると −(左)(はい)を押します。

6 有効化設定確認メッセージが表示されると −(左)(はい) または −(右)(いいえ)を押して設定を終えます。





お気に入り有効化とは?

保存されたお気に入りは有効化してからホーム画面で ⇕ 短縮キーで使用できます。保存されていても有効化しないお気に入りは短縮キーを押しても画面に表示されません。

登録されたお気に入りの有効化方法

ホーム画面で −(左)(MODE)を長押し ⇨ −(左)(編集) ⇨ お気に入り項目選択 ⇨ −(右)(選択/解除)を押して有効化を設定 ⇨ −(左)(保存)

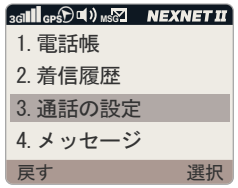
ワンタッチPTTの設定

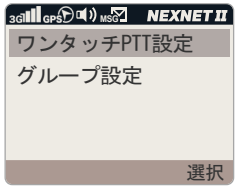
➥ホーム画面でPTTボタンを押した際の無線端末機が反応する動作を設定します。動作についたオプションは最近着信履歴／指定した個別番号／最後着信／グループの4個があります。

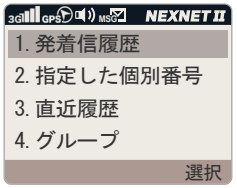
1 ホーム画面で (−)(右)を押してメニューを表示します。

2 [**通話の設定**] > [**ワンタッチPTT設定**]を選択します。

3 表示される画面で (↕)を操作してオプションを選択し、(−)(右)(**選択**)を押して設定を終えます。







<ワンタッチPTTのオプション>
発着信履歴: 最近に使用した発着信履歴に移動します。
指定した個別番号: 指定した個別番号とPTT通信を行います。
直近履歴: 最後に通話した個別通話相手やグループとPTT通信を行います。
グループ: 現在設定されているグループとPTT通信を行います。

無線通話番号の形式は「OOO(3桁)、またはOOOO(4桁)」＊「OOOO(4桁)」です。前の番号が同じの場合には後ろの4桁「OOOO」だけ入力して発信ができます。前の番号が違う場合、個別通話は可能ですが、グループ通話はできません。
例)「123＊4567」の発信者が「123＊7890」の受信者に発信するとき、「7890」を入力します。

番号検索

➥連絡先の一部情報だけを入力し検索が可能です。

1 ホーム画面でマイクの10キーで一部の番号を入力します。

2 表示される画面で (−)(右)(**検索**)を押します。入力した番号が含まれるリストを電話帳から検索し表示します。

3 表示されるリストで (↕)を操作して対象を選択し、PTTボタンを押すとPTT通信を行います。

録音再生機能

➥受信されたPTT音声は自動的に録音されます。録音は最大10件まで可能で、10件を超えた場合古い録音ファイルから削除されて録音します。次は録音した音声を再生する方法です。

1 ホーム画面で (#)を長押しします。録音された受話履歴が表示されます。

2 リストで (↕)を操作して再生したい項目を選択して (−)(右)(**再生**)を押して録音された内容を再生します。また (−)(右)(**停止**)を押すと再生を停止します。

短縮キー

➥短縮キーを使用して頻繁に使用する機能を実行することができます。

お気に入りの設定

ホーム画面で (−)(左)(MODE)を長押しします。

お気に入りの検索

ホーム画面で (↕)を操作すると有効化したお気に入り番号が表示されます。お気に入りの番号でPTTボタンを押すと指定された個別電話帳やグループとPTT通信ができます。

無音モードON/OFF

ホーム画面で (＊)を長押しします。

録音リストの表示

ホーム画面で (#)を長押しします。

個別連絡先へのPTT通信

1から999までの番号を入力し、PTTボタンを押します。

ワンタッチPTT

ホーム画面でPTTボタンを押します。設定されたオプションでPTT通信をします。
使用者がワンタッチPTTのオプションを設定することができます。詳しい内容は18ページの「**ワンタッチPTTの設定**」を参考してください。

詳細メニュー

1. 電話帳	個別連絡先、グループ、お気に入りを登録し、検索します。
1. 個別電話帳	個別連絡先を検索したり、編集します。
2. お気に入り	お気に入りを検索したり、登録/編集します。
3. 電話帳新規登録	個別連絡先を新規登録します。
4. グループ設定	グループを検索したり、登録/編集します。
2. 着信履歴	通話および呼び出しの送受信履歴を確認します。
3. 通話の設定	通話関連の設定をします。
1. ワンタッチPTT設定	ワンタッチPTTオプションを設定します。
1. 発着信履歴	オプションを発着信履歴の表示で指定します。
2. 指定した個別番号	オプションを指定した個別番号に発信で指定します。
3. 直近履歴	オプションを直近履歴で指定します。
4. グループ	オプションをグループ発信で指定します。
2. グループ設定	所属する通話グループを設定します。
4. メッセージ	受信されたメッセージを確認したり、メッセージについての設定をします。
1. 受信メッセージ	受信されたメッセージを確認します。
2. メッセージ設定	メッセージ関連の設定をします。
1. アラーム設定	メッセージ受信アラームを設定します。
2. メッセージ全部削除	受信されたすべてのメッセージを削除します。
5. 録音再生	録音内容を確認したり、自動録音についての設定をします。
1. 録音目録	録音内容を確認します。
2. 自動録音設定	自動録音機能の有効化／無効化を選択します。
6. サウンドの設定	音を設定します。
1. スピーカー設定	スピーカーの音量及びイコラーザーを設定します。
2. マイク設定	マイクを設定します。
1. マイク感度	マイクの感度を設定します。
2. 低音除去	使用者の音声の特定の低域帯を除去して相手に伝えます。
3. マイクテスト	使用者の音声を録音してマイクをテストします。
4. 設定の初期化	マイクの設定を初期化します。
7. 画面の設定	画面を設定します。
1. 明るさ/照明	画面の明るさや画面の照明維持時間を設定します。
2. THEME	画面のテーマを変更します。
3. 設定の初期化	画面の設定を初期化します。
8. 端末機情報	端末機の情報を確認します。
1. 使用量	全体通話、発信通話、受信通話の使用時間（分／秒）を確認します。
2. 状態	IP、GPSなどの端末機の現在状態情報を確認します。
3. 外部機器	本体に接続している外部機器の状態を表示します。
4. 端末機バージョン	ソフトウェアのバージョンを表示します。

よくある質問

音が出ない

－本体のボリュームが小さくなっていませんか。
－マイクと本体の接続を確認してください。（マイクの画面が表示されていますか）
－電源が入っていますか（本体の電源ランプや、マイクの画面が表示されていますか）

通話をしようとするが繋がらない

－パケット通信網が圏外、または電波が弱い場合があります。受信感度の高い場所に移動してください。
－マイクの画面にてアンテナレベルを確認してください。
－繋がらない場合はマイクの画面メッセージを確認してください。

通話相手から音が良くないと言われる

－マイクに口を近づけすぎると音質が悪くなることがあります。5cm くらい離して通話してください。
－メニューの機能設定より、マイク感度の変更が可能です。声の大きい方、小さい方にあわせてマイクの感度を変更してください。

GPS が測位しない

－電源オン直後は、測位までしばらく時間がかかることがあります。
－高架下やトンネル内などの場所ではGPS 電波が受信できません。空が開けた場所に移動してください。
－密集した樹木の間、高い建物の傍などマルチパスの影響を受けやすい場所にいると正確な測位ができない場合があります。

＊ マルチパス – 衛星から送信された電波が建物や地形などの障害によって反射・回折し、受信側で複数の経路から同じ電波を受信してしまい、位置情報に誤差が生まれてしまう現象。マルチパスの影響を受け易い場所としては、高いビル間や高架道路の側道などがあげられます。上記の場所を走っている際は、誤差が多くなったり測位出来なかったりします。車の設置状況や衛星の捕捉状態にもよりますので、同じ場所で同じようにすべての車両で発生するものではありません。にもよりますので、同じ場所で同じようにすべての車両で発生するものではありません。

－GPSアンテナの設置場所に注意してください。設置場所によっては正確な測位ができない場合があります。また付属のアンテナプレートが正しく設置されていない場合も受信感度が低下する場合があります。必ず設置してください。
－ノイズを発生する電子機器の傍にGPSアンテナを設置すると正確な測位ができない場合があります。

＊ GPS 受信に影響を与えるおそれのある機器

カーナビゲーション、携帯モバイル機器用シガーソケット充電器
モニター機器、AC100V に変換するインバータ電源、レーダー検知器
タクシーのウインドウサイン、ETC、他社製の無線機 など。

主な仕様

寸法	本機: 125 x 123.7 x 30 mm (専用ステー未装着時) マイク: 63.8 x 30.9 x 141.7 mm
重量	本機: 241.1 g (専用ステー未装着時) マイク: 236.8 g (カールコード含む)
ディスプレイ	2.0″ TFT カラー LCD
CPU	デュアルコア 750MHz
ROM	128Mbyte Nand
RAM	256Mbyte DDR3
センサー	温度センサー
スピーカー	Max 2Wのアンプ

電源電圧	動作範囲: 6V~32V UVLO、OCP、リバースプロテクション
USBポート	USB2.0、2つ
WCDMA	〈3g ドングル：RT-WJ02〉 ・DUTタイプ：デュアルバンド WCDMA/HSDPA/HSUPA ・消費電流：500mA以下 ・電圧：+5.0V +/-10%
GPS	〈Combines SiRFstarIV, GSD4e〉 周波数帯：1575.42MHz
3.5 φ スピークアウトポート	サポート (最大6W)

MEMO

j.mobile

株式会社 J-Mobile
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町7-13 洋和ビル6階
www.j-mobile.co.jp